

かけはし

テクノロジーでつながる、よりよい未来への懸け橋

December

2025, 12

公共分野におけるAI・
デジタル活用と連携強化





INDEX

Featured Topics

1. 「Copilot Chat含む M365 Copilot ウェビナー勉強会」
開催報告
2. サイバー犯罪撲滅に向けた官民連携に関して
3. AI 活用で行政サービスの質向上へ！
大阪府と日本マイクロソフトの新たな取り組みを発表
4. 教育におけるAIの本質は“人間の目的意識”
Microsoft AI Tour Osakaが示した次世代学習の姿
5. 生成AIと先進技術の活用で加速する医療DX

News

1. 第3回 行政機関向け デジタル業務改革 事例研究会
2. Microsoft 365 教育版アップデートCopilot 有料版を
18ドルで提供開始

「Copilot Chat含む M365 Copilot ウェビナー勉強会」 開催報告

この記事は、勉強会の開催履歴をもとに、Microsoft 365 Copilot に作成させたものに加筆修正して作成致しました。

中央省庁・独立行政法人の職員の皆様を対象に、Microsoft 365 Copilot およびCopilot Chatの活用方法を理解し、業務効率化やDX推進に役立てて頂くことを目的として、ウェビナー形式により四週連続で開催致しました。

開催概要

開催日：10/23、10/30、11/6、
11/13 (計四回)
開催形式：ウェビナー
参加者数：四回計 1,100人



勉強会の概要

1. Copilot Chatの基本機能

Copilot Chatの特徴や利用方法を解説しました。標準ライセンスで利用できる機能、セキュリティ対策、日本語プロンプトの工夫を紹介し、検索・要約・文書作成などのデモを実施しました。

2. エージェント機能とCopilot Studio

エージェントの役割とCopilot Chatとの違いを説明し、業務特化型エージェントの作成手順を紹介しました。SharePoint 連携や標準エージェントの活用事例も取り上げました。

3. 公共機関でのユースケース

議事録や報告書作成、法令対応など、公共分野での具体的な活用事例を紹介しました。国内外の導入状況やプロンプトハッカソンでの事例も共有しました。

4. 効果測定と今後の展望

Copilotダッシュボードによる利用効果の測定結果を示し、AI活用のコツを解説しました。今後の機能拡張や公共分野での適用可能性についても触れました。

質疑応答概要

参加者の皆様からは、ライセンス要件やセキュリティ、利用制限、プロンプトの書き方など、多くの質問が寄せられました。弊社より「Copilotはユーザーデータを学習しない」「利用には Copilot for Microsoft 365 アドオンが必要」「エージェント利用は作成者側で課金」などの回答を致しました。また、プロンプト設計の工夫やCSV文字化け対策についても具体的なアイデアを説明致しました。

今後の予定

今後も同様のセミナー、勉強会を開催予定です。詳しくは弊社社員までお問い合わせください。

サイバー犯罪撲滅に向けた官民連携に関して

日本を標的としたサイバー犯罪対策で、警察庁やインド共和国中央捜査局（CBI）等との国際的な協働が評価され、2025年9月5日警察庁よりマイクロソフトが表彰を賜りました。

本件、日本の高齢者を標的としたサポート詐欺に対し警察庁、日本サイバー犯罪対策センター（以下JC3）、関連パートナー、マイクロソフトが一丸となりインドを拠点とする詐欺ネットワークの特定からインド共和国中央捜査局(CBI)と警察庁との国際捜査連携により犯人検挙に至った事例となります。

マイクロソフトにはDigital Crimes Unit（以下DCU）と呼ばれるデジタル犯罪対策部門が存在しております。DCUは世界規模でサイバー犯罪を調査・摘発するために設立された部門となり、重点領域としてランサムウェア、フィッシング、マルウェアなどの脅威の検出・無効化に加えクラウドやデジタルサービスを悪用する犯罪インフラの特定・遮断や全世界の法執行機関や業界団体との連携による摘発支援を行っております。

昨今のサイバー犯罪動向として犯罪のサービス化（Crime-as-a-Service）が挙げられており、ランサムウェアの提供やフィッシングサイトのテンプレート化等、犯罪の分業制が進む中でサービス提供者と利用者の関係性が複雑化してきております。

これら最新のサイバー空間における脅威情報を[マイクロソフトデジタル防衛レポート](#)という形式で発表しております。お時間ある時にご覧になって頂けると幸いです。



[【警察庁より表彰を受けました：Microsoftが日本を標的としたサイバー犯罪対策に協力】](#)



[国境を越えた連携: 国際的な法執行機関らとマイクロソフト、高齢者を狙った国際詐欺ネットワークを摘発](#)

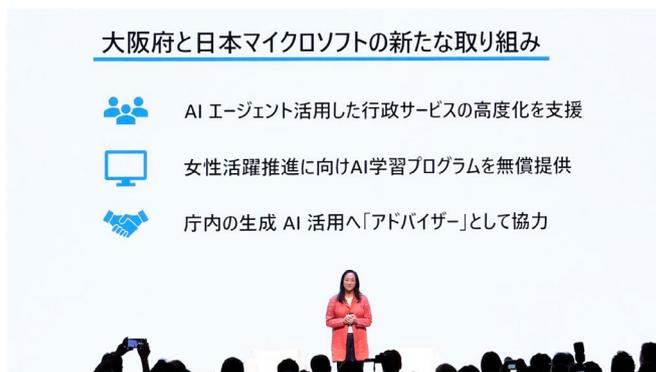


AI 活用で行政サービスの質向上へ！ 大阪府と日本マイクロソフトの新たな取り組みを発表

日本マイクロソフトは、大阪府と2023年9月に「AI の利活用推進に向けた事業連携協定」を締結し、生成 AI の活用に向け相互に協力することを発表しています。このたび、2025年9月10日に開催された「Microsoft AI Tour Osaka」にて、協定に基づく3つの新たな取り組みが発表され、注目を集めています。発表された新たな取り組みを紹介すると共に、AI Tour Osaka 当日の様子をお伝えします。



AI Tour Osaka 基調講演にて、大阪府吉村知事が登壇



大阪府と日本マイクロソフトの新たな取り組みを発表

大阪府との新たな取り組み

1. AI エージェントを活用した行政サービスの高度化支援

行政案内や相談対応、多言語対応等への AI エージェントの試験導入に加え、将来的にはリアルタイムで集めた住民の声をもとに施策を検討するといった、より高度な AI 活用を検討します。また、大阪広域データ連携基盤（ORDEN）と連携し、人と AI が協働するための基盤づくりを進めます。本取り組みの推進に向けて、大阪府では「AI エージェント実証コンソーシアム」を年内に立ち上げる予定です。

2. 女性向け AI スキル習得支援プログラムの提供

大阪府が展開する「にであうトレーニング」の枠組みのもと、マイクロソフトは AI スキルを学べる無償プログラム「Code; Without Barriers（コード ウィズアウト バリアーズ）」を提供します。本プログラムは、「AI を使う」、「AI を創る」の2コースで構成され、AI 時代に対応した実践的なスキルを身につけることができます。

3. 大阪府庁での生成 AI 活用強化を「アドバイザー」として支援

大阪府が2025年9月に新設した「庁内生成 AI アドバイザー制度」の枠組みのもと、マイクロソフトの社員がアドバイザーとして庁内での安全かつ効果的な生成 AI の活用推進を支援します（※）。人材育成の一環として、実務現場での生成 AI 利活用の定着と拡大に貢献することを期待しています。

基調講演での大阪府吉村知事のコメント（抜粋）



住民の皆さんの行政サービスを高め、役所の生産性を向上するために、私たちは積極的に生成 AI にコミットしていきます。大阪府が事務局となり『行政AIエージェント実証コンソーシアム』を本年中に設立する予定です。AI や IT 企業、ロボット関連企業等、広く民間企業の皆さまにご参画いただきたいと考えています。民間企業の皆様と互いに協力し合いながら、この生成 AI の可能性をさらに大阪府として追求していきます。

ご参考

「にであうトレーニング」へのアクセスはこちら
<https://nideau-training.shigotofield.jp/>
 ※OSAKA しごとフィールドのサイトに遷移します



「Code; Without Barriers」へのアクセスはこちら
<https://www.microsoft.com/ja-jp/codewithoutbarriers/>



教育におけるAIの本質は“人間の目的意識” Microsoft AI Tour Osakaが示した次世代学習の姿

生成AI時代の教育に問われるのは、技術よりも「人間の目的意識」

2025年9月10日、大阪で開催された「Microsoft AI Tour Osaka」。基調講演には日本マイクロソフト社長 津坂美樹氏をはじめ、多くの企業・教育関係者が登壇し、「AIで実現するフロンティア組織への進化とビジネス変革」をテーマに議論が交わされました。

創発人材育成の新拠点

その中で注目を集めたのが、学校法人立命館による教育現場でのAI活用の取り組みです。立命館大学 大阪いばらきキャンパス内に新設されたH棟を拠点に「Microsoft Base Ritsumeikan」を開設し、「創発性人材」の育成を目指す新たなプラットフォーム「QULTIVA（カルティバ）」を始動しました。

教育に問う目的意識

「本学園でも、企業の皆様が業務の効率化に生成AIを活用されているのと同じように Copilot Studio を校務の効率化に活かしています。ただ、企業様と大きく異なるのが、『教育や学生らの指導にどうやって生成AIを活用していくか』という点です。

私たちは“創発性人材”の育成を目指しており、教育にAIをどう活かすかが重要です。その際に不可欠なのが『人間の目的意識』です。学生らに対して教職員が何を指示し、何を行うべきかを明確にし、ロジックを組まなければならない。学園だけでは困難なため、企業との連携を通じて社会課題の解決と人材育成を進めたいと考えています。」



[Microsoft AI Tour Osakaレポート～AIで実現するフロンティア組織への進化とビジネス変革～ - マイクロソフト業界別の記事](#)



[QULTIVA（カルティバ）](#)

生成AIと先進技術の活用で加速する医療DX

医療機関における生成AIの活用事例

日本の医療現場は人手不足や業務複雑化、セキュリティリスクなど多くの課題を抱えています。AIやクラウド技術の活用により、業務効率化や診療精度向上、情報共有、セキュリティ強化が進み、医療DXが加速しています。それらに取り組みされている医療機関の活用事例を掲載したeBookを作成しました。今後の取り組みの参考にしていただけますと幸いです。

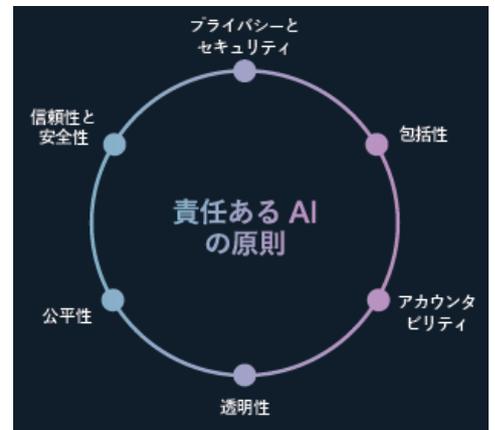
ヘルスケアに向けたAI や先進技術の積極的な活用で医療DX を推進

健全な働き方やタスクシフト、質の高い医療サービスの提供といった医療機関の目的を実現するためにテクノロジーの活用は欠かせないものとなっています。特に近年では医療機関用にチューニングされた生成AI はもちろん、医療情報を保護しながら外部の医療機関向けサービスを導入できる環境構築技術も実用化されており、日本の多くの医療現場で活用されているマイクロソフトとパートナー企業によるヘルスケアソリューションが、病院の働き方改革や医療DX 推進をご支援しています。



マイクロソフトが掲げる「責任あるAI」

AI がヘルスケア業界においても大きな役割を期待される中、AI システムがすべての医療機関とすべての患者に役立ち、安全で信頼できる医療サービスの実現に貢献することが求められます。マイクロソフトが掲げる「責任あるAI」は、設計プロセスの中心に人と、その目標を維持し、AI システムが医療に与える利点と潜在的なリスクを考慮します。「責任ある6つのAI原則」を遵守し、最先端の研究、最先端のエンジニアリングシステム、およびポリシーとガバナンスの卓越性を通じて、業界全体にアプローチしていきます。また、Microsoft クラウド サービスは ISMAP 認証を受けており、3 省2 ガイドラインを対象とするセキュリティリファレンスに準拠しています。



[eBookはヘルスケアブログサイトからダウンロードしてください](#)



News # 1

第3回 行政機関向け デジタル 業務改革 事例研究会

10月22日に、Power BI の活用事例の共有を目的に、事例研究会がウェビナー形式で開催され、中央省庁、地方自治体、独立行政法人の職員の皆様、300人以上の方々にご参加頂きました。

デジタル庁様、関東農政局様、独立行政法人都市再生機構 (UR) 様、杉並区様、港区様にご登壇頂き、講演者の皆様の取り組みをご紹介頂き、視聴頂いた皆様からご好評いただきました。



日本マイクロソフトからは、データ分析に関する今後の展望をご紹介させて頂きました。

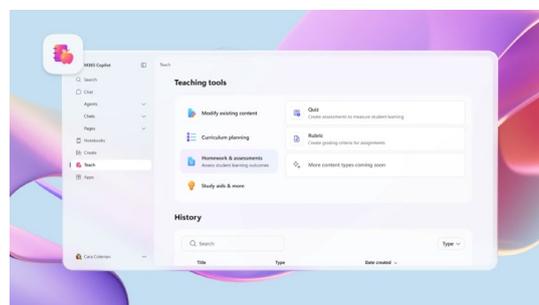
News # 2

Microsoft 365 教育版アップデート Copilot 有料版を18ドルで提供開始

Microsoft は教育向けに、AIを活用した「Microsoft 365 Copilot」を月額18ドルという手の届く価格で提供開始。教員・学生・職員が日常の業務や学習にAIを取り入れ、創造性と効率を飛躍的に高める新たな教育体験が、ついに現実のものとなります。

さらに、2026年にかけて、LMS連携・課題AI設定・学習エージェントなど、順次公開する予定です。

詳細は、右のブログ記事をご参照ください。



<http://aka.ms/AlinEDU-OctoberBlog>



編集後記

日本マイクロソフト株式会社
執行役員 常務 パブリックセクター事業本部長
木村 靖



10月より佐藤に代わり着任しました木村靖（キムラヤスシ）と申します。引き続き佐藤からバトンを引き継ぎ公共分野のAI/デジタル変革に貢献してまいります。

前号でご紹介いたしました新たなミッションステートメントの実現に向けて、12月号では、生成AIの公共分野での活用事例を紹介しています。行政機関向けウェビナーでは、Copilot ChatやCopilot Studioによる業務効率化とDXが進み、セキュリティやプロンプト設計など実践的な課題が議論されました。サイバー犯罪対策では官民・国際連携が評価され、マイクロソフトDCU部門がインフラ遮断や高齢者保護に貢献しています。大阪府との取り組みでは、サービス向上や住民参加型DX、AIアドバイザー制度が進行中です。教育分野も目的意識重視のAI活用が進められ、医療分野では業務効率化や診療精度向上、安全性確保などが実現されています。

生成AIは、これまでの事例が示す通り、行政・教育・医療など多様な分野で社会的課題の解決やサービス向上に貢献してきました。今後は、さらに多くの人々がAIの恩恵を享受できるように、誰もが安心して使える環境づくりと、倫理・責任を重視した運用が不可欠です。「責任あるAI」のポリシーに基づき、安心安全なセキュリティサービス、生成AIの技術の進化だけでなく、現場の声や多様な価値観を反映し、今後更に人々の生活や仕事をより豊かにしていくでしょう。

社会の安全・公平・効率・創造性を高める基盤、持続可能な未来への「かけはし」となるべき、行政・教育・医療など幅広い分野で社会課題の解決やサービス向上に役立てて行くべく、今後も現場の声を大切にしながら、生成AIの可能性を最大限に活かし、社会の発展に貢献していきます。

ミッションステートメント

「ともに考え、ともに進む。日本の未来を築く“かけはし”となる。」





表紙・裏表紙画像はCopilotを使用して作成しております。
「冬、人が楽しそうに行きかっている通り、自然も多いビジネス街、クリスマス風」のキーワードを入れています。

かけはし

テクノロジーでつながる、よりよい未来への懸け橋

